9　主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。
取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。また、処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですがお買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください。

⚠ 警告　部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス販売

修理課（東日本）	千葉県流山市南流山 2-27-6	TEL 050-1780-4164
修理課（西日本）	大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18	TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
電源スイッチを ON にしてもディスプレイ画面が点灯しない	電源コンセントに電気がきていますか	作業場の電源に電気がきているか確認してください
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを確実にコンセントへ差し込んでください
	電源プラグまたは電源コードは破損していませんか	電源コードを交換してください
	電源コードのソケットは確実に電源コード接続用インレットに接続されていますか	電源コードのソケットを確実に電源コード接続用インレットへ接続してください
	――――――――	上記内容を確認しても改善されない場合は電源スイッチ内部の FUSE が切れている可能性があるため交換が必要です
連続運転 OFF の時エアペダル・を踏むが圧着レバーが降りない（ピッという音がしない）	エアペダルホースが確実にエアスイッチ本体に差し込まれていますか	エアペダルホースを確実に差し込んでください
	エアペダルを踏んだときエアスイッチ本体側に内蔵されているマイクロスイッチからカチッという音がしていますか	カチッという音がしていない場合 →※エアスイッチ本体側を交換してください カチッという音がしている場合 →※コントロールユニットの交換が必要です
連続運転 OFF の時エアペダルを踏むが圧着レバーが降りない（ピッという音がする）	――――――――	※コントロールユニットの交換が必要です
加熱ランプは点灯しているが、ヒーターが発熱しない、シールができない	ヒーターが切れていませんか	ヒーターを交換してください
	電極とヒーターの接触が悪くなっていませんか	電極とヒーターの接触する金属部分をサンドペーパーなどで磨いてください
	電極にきているトランスからの黒（青）線が外れていませんか	※電極にきているトランスからの黒（青）線を確実に取り付けてください
	――――――――	※コントロールユニット内部のトライアックの故障が考えられますので交換が必要です

ヒーターが切れやすい	加熱温度を上げすぎていませんか	シールができる最低の加熱温度に設定してください
	冷却温度の設定が高すぎませんか	冷却温度を低めに設定してください
	ガラステープやシリコンシートが破損していませんか	ガラステープやシリコンシートを交換してください
ヒーターが中央部で折れて盛り上がる	電極が破損していませんか	※電極を交換してください
シールがきれいにできない	センタードライテープ、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムが破損していませんか	センタードライテープ、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムを交換してください
	冷却温度の設定が高すぎませんか	冷却温度を低めに設定してください
	袋（フィルム）の厚みに応じた圧力設定になっていますか	圧力調整ナットの調整を行ってください
シールの仕上がり状態が左右で異なる（片方だけが溶けるなど）	シリコンゴムの片側だけが消耗し、へこんでいませんか	シリコンゴムを交換してください
	圧着レバーが降りたとき圧着レバーとフレームの間に片側だけに隙間がありませんか	※隙間がある場合はお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください
電源スイッチが自動的に OFF になった 加熱ランプが点灯したままでヒーター、センタードライテープが焼けてしまう	ーーーーーーーーー	※コントロールユニットまたはマイクロスイッチ、マイクロスイッチケースの故障が考えられますので交換が必要です
シール開始直後に電源スイッチが OFF になる	消耗部品交換の際にシリコンシートを貼り忘れていませんか	過電流検知し、自動的に電源スイッチがトリップした可能性があります。 シリコンシートやガラステープなどの状態を確認してください
シール作業中（加熱中）に電源スイッチが OFF になる	ーーーーーーーーー	※コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です
電源スイッチを ON 状態にしてもすぐ OFF になる （ON 側に切り替えられない）	ーーーーーーーーー	※製品内部の異常の可能性がありますので、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください

処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

エラー表示が出た場合の確認事項と対処方法

この表示が点滅したら	ここを確認してください	対処方法
	圧着レバーが降りる前にマイクロスイッチが ON の状態だった場合に表示されます	マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースの故障が考えられますので交換が必要です ※「7-7　マイクロスイッチの交換」（→ P.34）を参照して、マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースを交換してください
	シール終了後もマイクロスイッチが ON の状態のままだった場合に表示されます	
	シール中にマイクロスイッチが OFF になった場合に表示されます。 →袋（フィルム）の厚みに応じた適切なシール圧力調整が設定されていますか	「8-1　シール圧力の調整方法」（→ P.39）を参照して、圧力調整を行ってください ※圧力調整を行ってもエラーが表示される場合、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください
	一定時間経過しても設定温度に到達しない場合に表示されます →タコ足配線していませんか →延長コードを使用していませんか →正規のヒーターを使用されていますか	・タコ足配線をやめてください ・コンセントに直接電源コードを差し込んでください ・弊社指定のヒーターに交換してください
	→温度センサーが外れたり位置がずれたりしていませんか	・「7-8　温度センサーの交換」（→ P.35）に記載の方法を参照して、温度センサーの位置ずれ、外れを直してください
	AC100 V 仕様の製品に AC200 V の電源が供給された場合に表示されます → AC200 V が供給されていませんか	製品仕様にあった電源を供給してください それでもエラーが表示される場合はコントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください
	AC200 V 仕様の製品に AC100 V の電源が供給された場合に表示されます → AC100 V が供給されていませんか	
	――――――――	
	冷却中に温度上昇を検知した場合表示されます	袋を挟まないでシール作業をしてください それでもエラーが発生する場合は、コントロールユニットの故障が考えられます ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください

この表示が点滅したら	ここを確認してください	対処方法
	加熱中にヒーターの温度上昇を検知できないと表示されます →温度センサーが外れたり位置がずれたりしていませんか →温度センサーが故障していませんか →ヒーターが断線していませんか	・「7-8　温度センサーの交換」（→ P.35）に記載の方法を参照して、温度センサーの交換、または位置ずれ、外れを直してください ・「7-3　ヒーターの交換」（→ P.29）に記載の方法を参照して、ヒーターを交換してください
	加熱中に温度センサーの出力異常を検知した場合に表示されます	温度センサーのコネクタを確実に取り付けてください ※症状が改善されない場合、温度センサーの故障が原因ですので、温度センサーを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください
	加熱開始前に温度センサーの出力異常を検知した場合に表示されます	
	シール作業をスタートしてからレバー降下を検知できない場合に表示されます →使用範囲外の厚みの袋（フィルム）をシールしていませんか	「4　正しい使用範囲」（→ P.12）を参照して、シール可能な厚みの袋（フィルム）をお使いください それでもエラーが表示される場合はマイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースの故障が考えられますので交換が必要です ※「7-7　マイクロスイッチの交換」（→ P.34）を参照して、マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースを交換してください
 ～ 	――――――――	電源を入れ直してください。 それでも表示される場合、コントロールユニットの故障が考えらえますので交換が必要です ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください

18　プリンター；主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。
取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。また、対処方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですが、お買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください。

⚠ 警告　部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス販売

修理課（東日本）	千葉県流山市南流山 2-27-6	TEL 050-1780-4164
修理課（西日本）	大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18	TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
電源ランプが点灯しない	プリンター本体の電源は入っていますか	「15-5　プリンターの電源スイッチを ON」（→ P.56）を参照し、プリンター本体の電源スイッチを ON にしてください
	シーラー本体の電源は入っていますか	シーラー本体の電源スイッチを ON にしてください
	プリンター本体の電源コードはシーラーと接続できていますか	電源コードをシーラー本体の専用コンセントに接続してください
印字がまったく写らない	プリンター本体の電源を ON にして、電源ランプが点灯しますか	※電源ランプが点灯していても改善しないときはヒーターの故障が考えられますので、お買い上げ販売店または弊社修理課までご連絡ください
	プリントテープは正しく取り付けられていますか	「16-1　プリントテープ交換」（→ P.59）、を参照して、プリントテープを正しく取り付けてください
	送り ON/OFF レバーは上がっていますか	「14　プリンター；各部の名称とはたらき」（→ P.54）>>> ■ 送り ON\OFF レバーの操作について を参照し、送り ON/OFF レバーを上げた状態で使用してください
印字した文字がかすれる、にじむ	プリントテープは純正品を使用していますか	純正のプリントテープを使用してください
	使用するフィルム（袋）に合ったプリントテープを使用していますか	「12　プリンター；プリントテープについて」（→ P.50）を参照し、使用するフィルム（袋）に合ったプリントテープに交換してください
	活字受けゴム、ガラステープが傷んでいませんか	「16-3　活字受けゴムの交換」（→ P.64）を参照して、活字受けゴム、ガラステープを交換してください

このような時は	ここを確認してください	対処方法
印字した文字がかすれる、にじむ	ホルダー内活字受けゴムが傷んでいませんか	「16-4　ホルダー内活字受けゴムの交換」（→ P.65）を参照して、ホルダー内活字受けゴムを交換してください
	活字が摩耗していませんか	「16-2　活字の交換」（→ P.62）を参照して、新しい活字に交換してください
	活字を片寄って配置していませんか	「16-2　活字の交換」（→ P.62）を参照して、活字を中央に配置してください
	活字を押し付ける力、左右のバランスは適切ですか	「17-1　ヒーター部ユニット（活字）の高さ調整」（→ P.66）を参照して、活字の当たり加減を調整してください
	送り切替レバーの位置は適切ですか	「17-2　印字列数の切替」（→ P.67）を参照して、活字の列数に合わせて送り切替レバーを設定してください
	送り ON/OFF レバーは上がっていますか	「14　プリンター；各部の名称とはたらき」（→ P.54）>>> ■ 送り ON\OFF レバーの操作について を参照し、送り ON/OFF レバーを上げた状態で使用してください
	プリントテープが片寄っていて、印字するときに活字がプリントテープからはみ出していませんか	「16-1　プリントテープ交換」（→ P.59）を参照し、プリントテープを正しく取り付けてください
		印字を繰り返してプリントテープが右や左に片寄る場合は、「17-4　プリントテープの片寄り調整」（→ P.68）を参照し、調整してください
	印字温度が足りない、または高すぎませんか	「15-6　印字温度を切り替える」（→ P.56）を参照し、印字温度切替スイッチを切り替えて写り具合を確認してください
印字跡が強く出る フィルム（袋）に穴が開く フィルムがシールされる	活字を強く当てすぎていませんか	「17-1　ヒーター部ユニット（活字）の高さ調整」（→ P.66）を参照し、活字の当たり具合を調整してください
	印字温度が高すぎませんか	「15-6　印字温度を切り替える」（→ P.56）を参照し、印字温度切替スイッチを切り替えて写り具合を確認してください
	活字受けゴム、ガラステープが傷んでいませんか	「16-3　活字受けゴムの交換」（→ P.64）を参照して、活字受けゴム、ガラステープを交換してください